

あぶくま高原道路 小野IC～平田IC間開通

福島県が、東北自動車道矢吹ICと福島空港、磐越自動車道小野ICを結ぶ、地域高規格道路として整備を進めてきました「あぶくま高原道路」の平田～小野IC間が、11月25日待望の開通を迎えました。

平田村上蓬田の国道49号線と磐越自動車道小野IC及び国道349号線を結ぶ8.6kmの自動車専用道路です。

この区間の開通により、所要時間が従来の県道利用と比べ約9分短縮されるとともに、いわき方面からの福島空



港へのアクセスの向上が期待されます。

また、当分の間、無料で通行することができます。

同日、平田ICで神事、テープカットにより盛大に開通を祝い、その後、小野ICまでパレードを行いました。また、多目的研修集会施設において記念式典、佐藤知事を囲んでの懇談会も開催されました。

今後は、未整備区間の福島空港～平田IC間14キロメートルの整備に入るとともに、平成22年度の全線開通を目標としております。

あぶくま高原道路開通記念イベント開催

10月31日、あぶくま高原道路小野ICから平田IC間の開通記念イベント「第3回とうろく君祭」が平田ICをメイン会場に開催され、約3,800人で賑わいました。

とうろく君祭は、あぶくま高原道路沿線16町村が連携と交流を深め、地域の活性化を図るために開催されるもので、各町村の特産物展示販売や県道路公社、日本道路公団や建設業関係団体の重機やパネルの展示、そして郷土芸能アトラクションとして上羽出庭じゃんがら念仏踊り・小町よさこい隊の演技が披露され、開通記念イベントを盛り上げていただきました。

小野IC側から、佐藤あぶくま高原自動車道建設事務所長のあいさつの後、開通前の「あぶくま高原道路」を歩こうと、約300人が参加し、平田ICを目指してスタートしました。

紅葉が色づき始めた秋の「あぶくま高原道路」を満喫した一日となりました。

